

「新エネ大賞」の受賞について

2022年2月3日
関西電力株式会社

当社が、大阪市北区中之島において、株式会社関電エネルギーソリューションおよび株式会社日建設計とともに導入している「河川水熱と水蓄熱槽を用いた高効率冷暖房プラントの構築^{※1}」が、このたび、「2021年度新エネ大賞^{※2}」の「導入活動部門」で新エネルギー財団会長賞を受賞しました。

<評価いただいたポイント>

- 河川水熱と水蓄熱槽を用いた高効率冷暖房プラントの構築
：導入活動部門 新エネルギー財団会長賞
- ・河川水熱と水蓄熱槽を用いた高効率地域冷暖房プラントであり、2本の河川を利用した事例である。
 - ・既設プラントの経験より河川水熱を直接利用することや水蓄熱槽を用いることなどの改善を図っており、国内最高効率(2019年度実績 COP:1.51)の地域冷暖房を構築した。
 - ・河川水利用の地域冷暖房について、先行事例の実績に基づく改善、更に段階的な運開後の運転実績の蓄積に基づく改善の積み上げで、高い効率を獲得するに至った点が評価された。

当社は、引き続き、お客さまや社会のニーズや課題に向きあい、新たな価値を提供し続けるサービス・プロバイダーへの転換を着実に進めるとともに、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

以 上

- ※1：2008年に計画が始まった中之島二丁目地域冷暖房は河川水熱を利用した国内最高効率の地域冷暖房を目指し、2012年にフェスティバルタワープラント、2017年に同西プラントを構築。以降、省エネ改善を続け、熱源システムのエネルギー消費効率(COP)は、2019年度実績で1.51と国内最高クラスの効率を達成。同地域冷暖房のエネルギー消費は、地域冷暖房の全国平均と比べて51%減を達成した。
- ※2：新エネルギーの一層の導入促進と普及及び啓発を図ることを目的に、一般財団法人の新エネルギー財団が新エネルギーに係る商品及び新エネルギーの導入、あるいは普及啓発活動を広く募集し、経済産業省の後援を受け、実施している表彰。

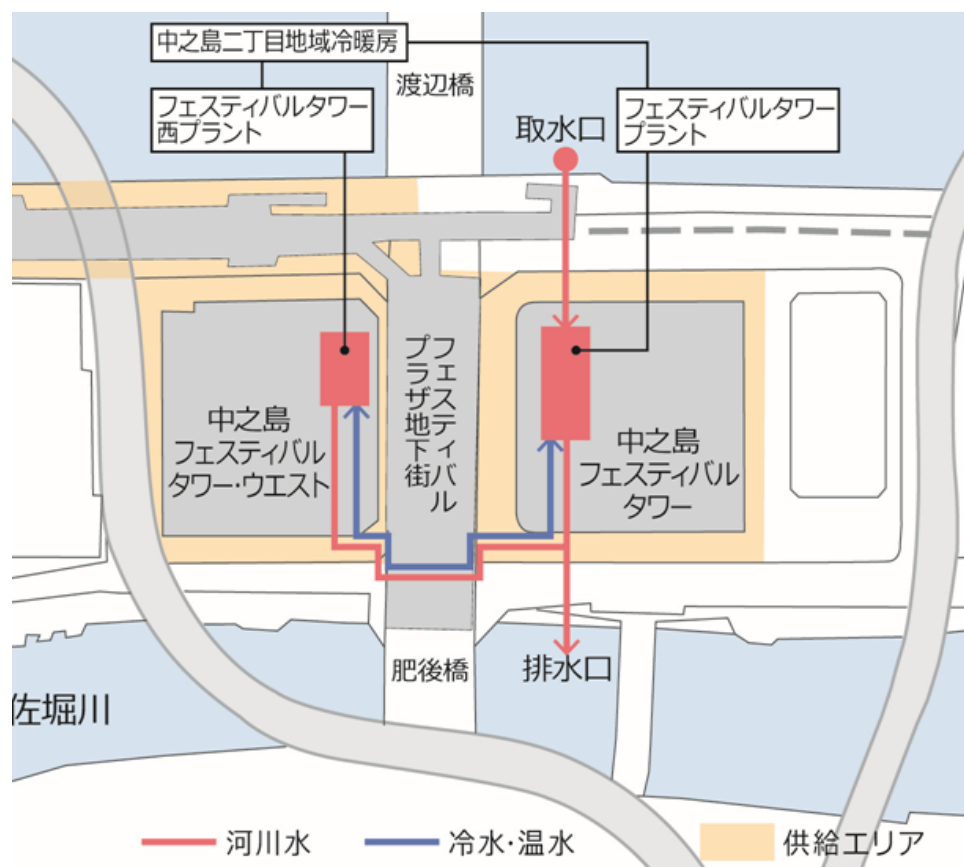
添付資料：「新エネ大賞」受賞の概要

「新エネ大賞」受賞の概要

2022年2月3日
関西電力株式会社

<概要>

- 2008年に計画が始まった中之島二丁目地域冷暖房では、先行する中之島三丁目地域冷暖房で得られた知見を元にして、河川水熱を利用した国内最高効率の地域冷暖房を目指した。
- 2012年にフェスティバルタワープラント、2017年に同西プラントが完成し、以降、運転の最適化など省エネルギー改善を続けたことで、中之島二丁目地域冷暖房のエネルギー消費は、全国平均と比べて51%減を達成した。なお、COP（一次エネルギー換算）は、国内最高クラスの効率となる1.51（2019年度実績）を達成することができた。[全国平均は0.74]



【実施主体（役割）】

- ・株式会社関電エネルギーソリューション（運営事業者）
- ・関西電力株式会社（運営助言者）
- ・株式会社日建設計（設計者）

【実施期間】

2008年7月～